

さくらんぼ

2012
vol.14

~「さくらんぼ」のように男性と女性がいっしょに並んで
「実」となり、「実」がつながって社会(房)が成り立ちます~

1月20日開催の「子育て男女のチャレンジセミナー」より

子どものこころの基地・親の心の基地



講師 **なかや みちえ**
中谷 通恵 氏

NPO法人お助けネット 代表
子どもとメディア北海道 副代表

自身の子育て経験をもとに、子育て
のポイントと子育て支援のありかたを
ユーモアを交えて講演されました。
その一部をご紹介します。

子育てに大切なのは

くわしくは次のページから
ごらんください!

- 子どもの発達の道筋に応じた対応をすること
- 子どもをとりまく大人の関係として、妻と夫の
関係が対等・平等で、子育てをいっしょに
していること



毎日健康で笑いがある生活をして、少し自分を省みる。
そして子どもといっしょに成長していければ、
それでもう、子育て100点満点です。

お父さんは…

お母さんが自省することができるように
心と体のゆとりがもてるように保証してあげることが
大切な役割になります。



子育ては心の発達の道筋に合わせて



0歳～3歳 十分な愛情を注ぐことで子どもの「**こころの基地**」を育みます

抱っこをすると「抱き癖がつく」ということはありません。子どもは「泣く」ことによって「不快」な思いを「快」の思いに変えてもらえることで脳が発達します。泣いたり不機嫌なときにしっかり甘えさせることが、自分が大事にされている、愛されているという気持ち育てます。



10歳までは、大人にほめられるととてもうれしい。だから親や先生から言われる言葉が楽しみです。我慢強さを育てるためには、「物欲を制限」することが大事です。例えば「おやつを買うのは週に1回」などと家の中のルールを決めたら、子どもがどんなに泣いても機嫌をとることも叱ることもなく、軽く無視します。買い物のたびに泣いたら、「周りの人に迷惑をかける」と連れ帰ります。それを繰り返すうちに泣かない日がきたら、我慢できたことをほめてあげる。我慢強さは、我慢強くできた時を見逃さないで認めてあげることで最も育まれます。

なかま
中谷 みつえ
通恵氏
プロフィール

平成2年に小学校教諭を退職後、白老町で育児サークル「トコトコ」を発足。子育て通信「心の基地になりたくて」を発行。

男女共同参画による子育てと子育て支援の広がりをめざし、平成16年にNPO法人お助けネットを設立。3年後には白老町子育てふれあいセンターの運営を開始し、ますます多方面でご活躍中。

3歳～10歳 どうしても小言が多くなりがちだから、それ以上に子どもといっしょに楽しい時間をすごしましょう

10歳～18歳 「有能感」を大事に意欲・自主性を育む時期

「有能感」とは、子どもが自分は他の人よりどんなところが優れているのか、得意なのかに自分自身で気が付くことです。ですから子どもが自分でこれに気が付いた頃から、そのやりたいことをサポートしてのばしてあげるのがいいですね。だから基本的にはそれまでいろいろなことを体験させてあげて、うまくいかないことがあっても周りの子と比較しないで「大丈夫大丈夫、そのうちできるようになるよ」と言って言葉をかけてあげるといいです。

学童期～思春期に子どもが悩んだときには

★その子の話を、徹底的に聞いてあげることです。指導や助言や命令をはさまないで、不安な気持ちをしっかりと聞いてあげることで、自己肯定感、自尊感情が豊かになります。

子育て支援の原点は

★現代社会では、誰もが孤立しやすく悩みやすいです。だから、子どもの「こころの基地」に親がなるためには、親の「心の基地」が地域に必要なんです。その親の基地は、共働きなら職場の子育てへの理解や保育所などの支援のしくみ、専業主婦なら子どもを連れて気軽に集まれる場所、あるいはいざというときに託児を依頼できるしくみなど。そういう支援・サービスという「親の基地」が網の目のようにはりめぐされる必要があるのです。

参加者の声(アンケートからの抜粋させていただきました)

- ★ 大変楽しく参考になるお話でした。子育てという仕事は苦労や悩みも多いけれど、尊いものだと思います。
- ★ 講師の中谷さんも母親として、私たちと同じ気持ち、経験をしてきていてお話がずっと入ってきました。悩んでいるのはみんななんだなとほっとしました。



子育て支援センターをご利用ください

子育て支援センターは、子育て中の親子（就学前）・家族が自由に利用ができます。親同士・親子のコミュニケーションの場としても楽しいところです。保育士が常駐し、育児相談や子育て情報の提供などを行っています。

子育て支援センターはくよう

(柏陽町 3-24-1 TEL&FAX 33-0037)

子育て支援センターめぐみの

(恵み野西 1-8-2 TEL&FAX 37-6020)

子育て支援センターしままつ

(島松寿町 1-28-10 TEL&FAX 37-8101)

みんなのひろば (福住町 1-21-24)

(TEL&FAXは子育て支援センターはくようの番号へ)



ピックアップ

お気軽にお問合せください。

のびのびパーク (しままつ) 毎週火曜日 9:00~10:00

戸外の遊びやバス遠足、見学会などを行います

申込が必要です。詳しくはお問合せください。



サンデーパパ (めぐみの) 毎月1回日曜日 10:00~11:30

お父さんとお子さんがいっしょに遊びます。お母さんはお休み。

就学前の親子が対象。申込は不要です。

プレイセンター (めぐみの) ニュージージーランド生まれの幼児教育活動で60年以上の歴史があります。「家族と一緒に成長する」ことを目標に、①自由遊び ②親の学習 ③協働運営 を柱に活動をしています。プレイセンターはあなたと同じ子育ての仲間がいっぱいです。

みんなでいっしょに子育てしましょう

でかけてきませんか?



男女共同参画審議会員を募集します!

恵庭市では、「恵庭市の男女が平等に暮らすために共に歩む条例」に基づき、男女が性別による差別に左右されることなく、共に協力しあってその人らしい人生を生きることをめざしています。

各課で行う施策は人生各期に応じて就業支援から子育て支援、健康増進、介護支援など多岐にわたり、事業の概要について意見をいただきます。

★応募できる方は 恵庭市にお住まいの方、市内の事業所や学校などに勤務または在学している方で、他の附属機関等の公募委員に就いていない方

★募集人数は 若干名です。選考会で書類選考を行い決定します。

★応募期間は 3月1日~3月19日(火)(19日の消印有効)。

★任期は 平成24年4月1日から2年間です。

年2回ほどの会議に出席していただきます。会議開催中の託児がありますので、ご希望の方はご相談ください。

★応募方法は 「応募申込書」は総務課窓口、市役所島松支所・恵み野出張所・中恵庭出張所に備えてあります。また、恵庭市役所ホームページからもダウンロードできます。または、任意の用紙に氏名・住所・年齢・電話番号・性別(条例に、男女の比率の規定があります)・経歴・「男女共同参画についての考え方」を明記して、下記の宛先までお送りください。

委員申込・
情報紙
感想の
宛先は

発行 平成24年3月
〒061-1498 恵庭市京町1番地
恵庭市総務部総務課 男女共同参画担当
(33)3131(内線2211)
FAX(33)3137(代表)
Mail:soumu@city.eniwa.hokkaido.jp
HP:http://www.city.eniwa.hokkaido.jp